

おおた文化の森

Vol.13
October
2004

秋

最新号は[Vol.19](#)です
バックナンバーは[Vol.19](#)から
ご覧になれます。

夏号の表紙



片山広子(1878~1957)歌
人・翻訳家



■ [Bunkanomori Topics](#)

音楽劇「水の詩」
HP委員会便り！
表紙の人物紹介 片山広子

■ [Event Calendar](#)

大田文化の森運営協議会公募による事業
大田文化の森運営協議会主催事業

■ [文化の森にZoom Up](#)

第3回 大田文化の森収穫祭
ごあいさつ 大田文化の森館長 大口靖子
廊下ギャラリー 展示作品募集！

■ [話題の人](#)

おおたの学校 大田区立梅田小学校校長
館野健三

大森まちづくりカフェ 高田あやさん

■ [わが街おおたのグッドパートナー](#)

大田区立男女平等推進センター エセナお
おた

■ [みなさんのおかげです](#)

健康ワンポイントアドバイス 第12回
「文化の森であいましょう」第6回
ティーラウンジ すばる

最終更新日 2004.10.12

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](#)まで bunkanomori@nifty.com

2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

楽劇「水の詩」

～七つのきらめき、光の輪の中へ～ 作・構成 河原佳子・山本直子 プロデューサー
— 山本武司



水の精に出会った「みのる」と「ゆうき」が大切なものをさがしています。七つの輝く光は、子どもたちを新しい世界へと導きます。子どもたちが見た七つの光は、それはそれはかけがえのないものだったのです。さて、その物語は…

「水の詩」は、環境をテーマとしたオリジナル音楽劇です。プロットに始まり、舞台演出から美術に至るまで全てアマチュアの手で作られました。出演者もオーディションに合格した五人の子どもたちです。現在一〇月一六日の公演に向けて練習に励んでいます。子どもたちが身につける衣装も、文化プレーヤーの方々がスタッフとして関わり、製作しています。衣装だけではなく、振り付け、音響、舞台美術等々、様々な場面で文化プレーヤーの方々がプロ顔負けの活躍をしています。小さなお子さんからおじいちゃま、おばあちゃままで、皆さんに楽しんでいただける音楽劇です。当日、「文化の森ホール」にぜひお越し下さい。

◆開催日時 10月16日（土）開演午後2時
（開場1時30分）

◆開催場所
大田文化の森ホール

◆チケット 500円（大人・子ども同額）

* チケットは大田文化の森受付（電話3722—0700）・アプリコ・区民プラザにて発売中



HP委員会便り！

ぜひ大田文化の森運営協議会のホームページにアクセスしてみてください！

運営協議会の各種案内やイベント情報が掲載されています。そして季刊の情報誌の内容も掲載され、新しいデジタル情報誌が誕生しました。

情報誌と共に、それぞれの特徴を生かした新鮮な情報を発信しますので、どうぞご利用下さい。（ホームページ委員会は結構楽しんで活躍していますよ！）。



■表紙の人物紹介

片山広子のプロフィール



片山広子（歌人・翻訳家）

1878～1957年、東京都生まれ。

「馬込文学地図」の著者、近藤富枝は当時の女性の両極にあった宇野千代と片山広子が大森に居住しているのに一度も顔を合わせしていなかったらしいことがとても残念でならないという。

上流家庭に育った広子はキリスト教的教養を身につけ、洋風の生活を躰けられた。

女学校卒業後、歌人・佐々木信綱の門下生となり「心の花」同人として活躍する。二一歳で結婚。1905（明38）年、新井宿に転入。1916（大5）年、38歳で歌集「翡翠」（かわせみ）を発表。

多くの支持者を得たが社会的名声を望まなかった広子は以前から手がけていたアイルランド文学の翻訳にうちこんだ。病弱だった夫は広子が42歳の時死去。

1924（大13）年、軽井沢の旅館で偶然、芥川龍之介と同宿。美しく典雅、二人の子の母親でもある広子に龍之介は強い思慕の念を持ち恋文を送るようになった。龍之介22歳、広子46歳。しかし3年後の1927（昭2）年、龍之介は妻と添い寝しながら服毒自殺をする。

二人が3年間に交わした手紙は十数通にすぎないがプラトニックな間柄とはいえ龍之介

の死が広子に与えた衝撃は大きく、立ち直りにかなりの日数を要したと告白している。広子の華やかで飾りの多い生活に室生犀星・堀辰雄・村岡花子は翻弄される。犀星は自分の作品の中で広子を批判し、辰雄は数編の小説の主人公とした。息子・吉村鉄太郎(文芸評論家・本名片山達吉)は病死、さらに戦争に伴う混乱で財産を失い、斜陽の身となった晩年は哀切であったという。1956(昭31)年、随筆集「燈火節」で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞したが一年後に死去。

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで bunkanomori@nifty.com

◆ 2004 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

大田文化の森運営協議会公募による事業

◆公募による事業とは

区民の文化活動を支援するために、実施したい企画、また、運営協議会に実施してもらいたい企画を募集。団体や個人が実施する企画に、使用施設・宣伝手段などの助成をします。

■オペラレクチャーコンサート「ラ・ボエーム」ハイライト

プッチーニの叙情あふれるオペラ。ナレーション入りではじめての方にも気軽に楽しんでいただけます。

開催日：10月15日/19:00開演(開場18:30)/定員：200名/チケット：2000円/誰でも(但し未就学児不可)

■カナダツガ・フェスティバル～カナダの森のコンサート～

ホールにて、大田区ハイドン室内管弦楽団メンバーとカナダツガ・アンサンブルによる弦楽合奏と講演。他に展示コーナーも開設。

開催日：10月17日/①14:00～15:00/②15:30～16:30/定員：各回200名/チケット：1000円(チケット購入者には1500円分のカナダ物産品プレゼント券がついています)

*展示コーナーは10:00～17:00

■シニア向き体操とクッキング

老化は個人差が大きい、そのメカニズムを知り音楽体操とクッキングで健康と若さを保ちましょう。

開催日：11月9日/13:30～15:30、16日/13:30～16:30/定員：20名/参加費：1300円(2回)/申込：10月25日必着/中高年の男女

■文化の森ヘンシン展～変身をテーマにした親子のためのアート展

みて！さわって！つくって！親子で楽しめるアート展！好評につき第2弾を開催します。

開催日：11月13日/13:00～18:00、14日/10:00～17:00/入場無料

【ワークショップ(14日のみ開催)】定員：当日先着24名/参加費：100～300円/2～9歳のお子さんと保護者

■てんで昔 ちっと昔

江戸から明治そして今へ。大田区の事件や庶民の心が、楽しく胸打つ芝居となってよみがえります。(区民とつくる地場演劇の会公演)

開催日：11月14日/①14:00～15:00/②17:00～18:00/定員：各回250名/チケット：1000円(当日1200円)

■ガーデニングをより楽しむために

出来るところからガーデニングを楽しみましょう。コツや園芸の情報などのミニ講義つきです。

開催日：12月2・16日、平成17年1月14日、2月9日、3月11日/10:00～12:00/定員：15名/参加費：5000円(5回)/申込：11月15日必着/誰でも(保育あり)

■いきいき健康体操教室

自分の体力年代を測って、運動できるカラダを作りましょう。

開催日：12月5・12・19日/9:30～11:00/定員：15名/参加費：1500円(3回)/申込：11月10日必着/健康な方

■墨絵を描いてみませんか

水墨画の基本四君子で描き方を学び、墨絵が描けるようになります。成果として作品の制作展示会を行います。

開催日：12月7・21日、平成17年1月18日、2月1・15日、3月8日/9:30～12:00/定員：28名/参加費：3000円(6回)/申込：11月15日必着/誰でも

■リズムを楽しもう！ジャンベ講座

アフリカのタイコ、ジャンベを使って体にリズムを取り入れて、元気になる講座です。

開催日：平成17年1月12・27日、2月9・24日、3月9・24日/19:00～21:00定員：10名/参加費：3000円(6回)/申込：12月10日必着/誰でも

■お母さんの書道教室

日本文化・心・言葉・文字を大切に、毛筆で漢字・かなの基本を練習します。好きな言葉を作品にします。

開催日：平成17年1月14・28日、2月18・25日、3月11・25日/

10:00～12:00/定員：18名/参加費：3000円(6回)/申込：12月21日必着/良い子を育てたいお母さん

大田文化の森運営協議会主催事業

◆主催事業とは

区民が自ら学び、演じ、交流し合っ、新しい文化を創造し、区民参画による管理運営を実現するために、実行委員会(6プロジェクト)で主に企画し、実施する事業です。

■音楽劇「水の詩」(詳細は2ページ参照)

姿を変えながら地球を旅する水の精が、子どもたちに協力を依頼して水をきれいにするための7色の虹の光を集めていくお話です。

開催日：10月16日/開演14:00/定員：250名/チケット(全席自由)：500円(大田文化の森・大田区民プラザ・アプリコにて発売)

■大田文化の森落語会 季節寄席<秋>

季節寄席の第2回目。500円玉で楽しめる落語会。出演は春風亭朝之助、春風亭朝左久。演目は「目黒のさんま」(朝之助)他。

開催日：10月16日/開演19:00(開場18:30)*開演時間が変更になりました/定員：230名/チケット(全席自由)：前売500円、当日売700円(大田文化の森にて発売)

■よみがえる文士村①<食生活編>

大正から昭和初期に文士が食べていたであろう食物、特に果物を中心にした話です。

開催日：10月24日/13:30～15:00/定員：70名/参加費：300円/申込：10月18日必着/誰でも

■第3回「大田文化の森収穫祭」(詳細は4ページ参照)

1年間努力し作り上げた作品、練習を重ねたステージでの演奏、歌や踊り、手品など…。朝9時から広場で秋の味覚が破格値の「朝市」、プレゼントがもらえるスタンプラリーなど、楽しさ満載の全館イベントです。

開催日：11月3日/9:00～17:00/参加無料

■アイ・パートナー…ってなあに？

アイ・パートナーと障害者との生活を知り、介助動物の役割や接し方を、体験しながら考えます。

開催日：11月20日/13:00～15:00/定員：100名/参加費：無料/申込：11月15日必着/小学生とその保護者

■よみがえる文士村②<女性の文士編>

21世紀のさきがけに咲いた女性文士たちに光をあてます。

開催日：11月21日/13:30～15:00/定員：70名/参加費：300円/申込：11月15日必着/誰でも

■「家庭で身近に出来るロシア料理と花巻寿司」講習交流会

本年度の異文化交流は、ロシアと日本がテーマ。今回は家庭で身近にできるロシア料理と日本の花巻寿司の講習会を開催。

開催日：11月28日/10:00～14:00/定員：30名/参加費：1000円/申込：先着順/誰でも

■文化の森 サロン・クリスマスコンサート

ロシアの歌姫パンチェンコ・ワレンチナが贈るクリスマスの名曲&日本とロシアの異文化交流会。

開催日：12月17日/開演19:00/定員：150名/チケット(全席自由)：1000円(大田文化の森にて発売)

■まちづくり展・マンションフォーラム

マンションの維持管理から地域環境に与える影響など、マンションのさまざまな問題を考えるフォーラム。

開催日：12月19日/【まちづくり展】10:00～16:00

【マンションフォーラム】13:00～16:00/定員：50名/参加費：500円/申込：12月10日必着/

誰でも

■大田文化の森合唱団

練習日: 毎月3回(月・日曜日)/(月)18:50~21:30、(日)13:00~16:00/会費: 月3000円(学生1500円)/中学生以上

◆上記事業に関する詳細につきましては、下記までお問合せ願います。

大田文化の森運営協議会事務室(平日9:00~18:00)

電話:03-3772-0770 FAX:03-3772-0704

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](#)まで bunkanomori@nifty.com

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

第3回 大田文化の森収穫祭

11月3日(水・祝日)

秋の一大イベント「収穫祭」も第3回目を迎え、楽しいイベントを揃えて皆さんのお越しをお待ちしております。

《知らなきゃ損する!》今年の催しのポイントを、ここでそーっと教えちゃいましょう。

★第1に、午前9時から広場で始まる『朝市』は収穫祭のオープニングイベントです。予定の内容は、秋の味覚! 果物や新鮮野菜の破格値市です。

★第2に、お子さま、ファミリーの皆さんに喜んでいただく『スタンプラリーで賞品を当てちゃおー』は午前11時から午後3時まで、空くじなしです! ふるって参加してください。

★第3に、「文化の森ホール」のイベントです。午前10時、大田区長の挨拶に始まり、1年間、練習を重ねた各サークルのステージ発表です。手話ダンス、コーラス、カンツォーネ、ハーモニカ、日本舞踊、フラダンス、マジック、ブラスバンドの演奏など盛りだくさんです。

★第4に、集会棟では、香りを楽しむアロマニストの作品発表やパッチワーク、パステル画を描こう、折り紙で遊ぼう、アイロン染めの実演、陶芸コーナーではピカチュウを作ろう! を予定しています。

★第5に、『模擬店』では、花巻寿司、バナナケーキ、ハヤシライス、そば、『縁日ミニショップ』では焼きそばやアクセサリー、『福祉コーナー』ではスペシャルオリンピックのTシャツやクッキー、パウンドケーキの販売など、楽しさ満載の収穫祭にご期待ください!

▼開催時間

午前9時～午後5時

(集会棟は午後4時まで)

▼全館入場無料



ごあいさつ 大田文化の森館長 大口 靖子



周囲が薄闇に包まれる頃、「すっきり音頭でヨイヨイヨイヤサ」と高らかな音楽と、力強い太鼓の音と共に盆踊りの輪が動き始めました。今年も夏の風物詩ともいえるカラオケ・盆踊り大会が文化の森広場で賑やかに繰り広げられました。

私は今年4月から開館三年目を迎えた文化の森の館長として着任いたしました。かつて新井宿特別出張所に勤務したことがあり地域の方々とお会いする機会が多く、大変懐かしい思いが致しております。

私にとってはまだまだ充分に承知し得ないことが多く、戸惑うばかりで右往左往しているところです。

開館3年ともなりますと区民の周知度も高くなり利用者も大変多くなってきております。特に当館には情報館(図書・マルチメディアコーナー)が開設されておりますので、土曜・日曜日ともなりますと来館者で大変賑わっております。利用者が多くなればその数だけ区民の声・要望も多種多様であり、可能な限りご希望に応えられるようにと努めております。

これからも文化の森利用者の皆様に少しでも快適に、そして楽しくご利用いただけるよう職員とともに力を合わせていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

《廊下ギャラリーより》

展示作品募集!



書くことが好き、詠むことが好き、作ることが好き、撮ることが好き、集めることが好きという人は沢山いると思いますが、そんな人たちの展示会は案外少ないものです。廊下ギャラリーで展示会をしたい方は、展示会の企画内容や趣旨を担当までお知らせください。今秋は望月良晃さん、桜井悦子さんの展示会を開催予定です。

「大相撲に関するものをなんでも集める習癖がある」という建築家の望月さんは、50年間集め続けた相撲ポスターや力士ブロマイドとともに、望月さん自身がデザインし実際に郵便局で使われてきた郵便記念消印の図案を展示します。

桜井さんは小箱やお菓子のケースの中にフェルトやティッシュペーパーなどの素材で作った四季折々の風景をみせてくれます。ぜひ四階の廊下ギャラリーに足を運んでみてください。

* 展示物は壁面吊り下げ形式のもの。展示、管理、撤去は展示企画者が行います。

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](#)まで bunkanomori@nifty.com

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

おおたの学校
開校50周年を迎えて
大田区立梅田小学校校長 舘野健三



梅田小学校は、昭和29年に開校しました。今年でちょうど50年になります。

学校では、11月12日に50周年式典、13日に学校公開のフェスティバルと祝賀会を行います。現在は25学級という、学級数では大田区一の学校になりました。

学校の特長の一つは、たて割班活動が活発なことです。一年生から六年生までをたて割にして、仲よく計画、活動しています。

50周年記念フェスティバルも、24のたて割班が企画し、ダンボール迷路、おばけやしき、人間すごろく、梅田宝さがしゲーム、梅田歴史双6等24企画を計画しています。どうぞお誘いあわせてお出かけください。

次に活発なのが、PTA活動です。特に平日の校庭開放を、毎日夕方やっていることです。PTAの方々が献身的に、子どもの遊び場確保のためにやってくれています。

そして、今年からできた学童保育室「フレンドリーおおた」は、実施校に通学する小学1～3年生で、保護者が仕事や病気、介護などのため、放課後、家庭での保育に欠ける児童を対象に活動しています。

学童保育を希望する方は当校学童保育室までお問合せください。



話題の人
大森まちづくりカフェ
事務局長 高田あやさん

今回は、運営協議会の取り組みから巣立っていった方を取り上げます。

大田区生まれ、大田区育ち、北千束在住の高田あやさん。

高田さんは、2002～03年に開催された運営協議会主催の「まちづくりコーディネーター養成講座」を受講。受講生有志10人を中心に、大森のまちづくり活動を継続して実践団体を作ろうと一念発起。多くの賛同者を得て、この春に設立総会を開催。その模様は朝日新聞でも取り上げられた。現在は区内の区民活動支援施設「こらぼ大森」を拠点として活動をしている。

活動内容の中心は、意外と知られていない大森やその周辺地域を探訪する「ちがいを知るまちあるき」シリーズの企画や、大森のまち情報を伝える情報紙「大森まちづくりカフェ」の発行だ。今後は、大森の街で起こっている問題を取り上げた講座や、大森周辺のまちあるき用の観光マップを出版予定。活動の中心メンバーは大学生から60代まで幅広いが、20～30代の活動が盛んだ。



にも関わっていた高田さん。探求する対象は「大森」に変わってもその眼差しは鋭い。そんな彼女が「地域情報紙を作りたい!」と思ったのが2002の春。一度は、その夢を果たしたが、第2号の発行ができなかった。その後、運営協議会主催の講座で出会った人々はその話を聞き、その夢の実現に向けて動き出し、今日に至っている。情報紙の「大森まちづくりカフェ」の名は、その地域情報紙にちなんだものなのだ。

活動団体名にもこの名前が使われている。「将来は『カフェ』の名に恥じない人の集まる場としたい。そこに若い人が集い、若い人が巣立っていけるといい」と将来のビジョンを語る。「大森をもっとPRする役割を大森まちづくりカフェが担えたら。いかに大森に必要とされる存在になれるかに、会の存続もかかっていると思います」と彼女は言う。

受講生だった「まちづくりコーディネータ養成講座」も今年は自ら企画(運営協議会共催)、放置自転車を題材に「人とまちと自転車の心地よい関係」を考え、収穫祭(11月3日)で展示発表する。彼女と大森まちづくりカフェの今後の活動に注目したい。

- ▼大森まちづくりカフェ事務局
- ▼東京都大田区大森西2-16-2
こらぼ大森(旧大森第六小学校)内
- ▼tel/fax:03-3768-0051
- ▼URL:<http://www.oomori-cafe.com>
- ▼e-mail:info@oomori-cafe.com

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](#)まで bunkanomori@nifty.com

大田区立男女平等推進センター エセナおおた

誰でも「自分らしく生きる」ことによって、自信が付き満足感を得ることができます。男女ともに住みやすい社会をつくるための拠点、それが「エセナおおた」です。

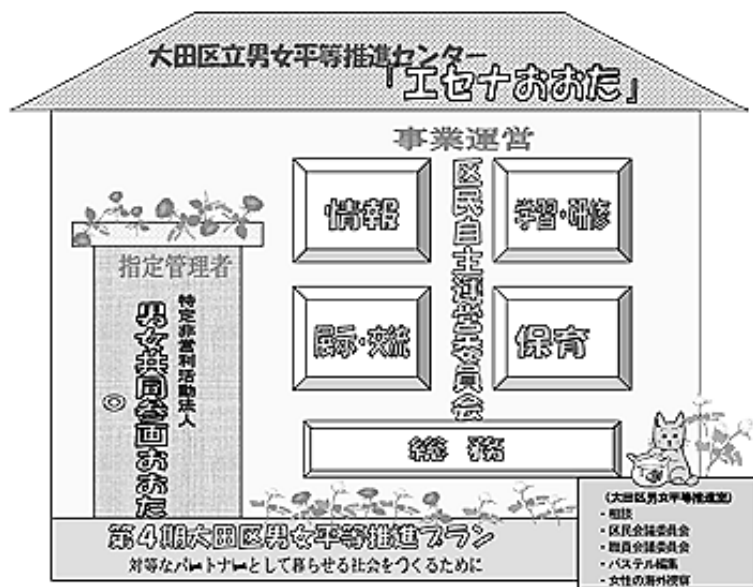
◆区民の手による区民へのサービス

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」は、「婦人会館→女性センター」を経て男女平等に関する総合センターとしてリニューアルされた、男女平等を推進するための大田区唯一の施設です。

延床面積約2444平方メートルの広さを持つセンターの管理・運営を担っているのは、「特定非営利活動法人 男女共同参画おおた」という市民団体です。大田区の公共施設利用システム・うぐいすネットを利用した区民サービスや施設の管理を行っています。

センター独自の講座、男女平等啓発のための展示や情報紙の発行などの企画運営事業を展開しているのは、大田区から委嘱された一三名の区民自主運営委員です。メンバーは全員大田区民です。センターの中に行政職員、もしくは職員だった人が一人もいないことは、「エセナおおた」の大きな特徴で、建物の内外すべてを区民が支えている、といっても言い過ぎではないでしょう。

まさに区民の手によって、区民へのサービスが行われている、区民のためのセンターといえます。



エセナおおた」は「区民自主運営委員会」と「NPO法人男女共同参画おおた」とで成り立っています。区民自主運営委員会は、大田区の男女平等推進室が主催する講座などを企画・運営する「事業グループ」とそれを支える「総務グループ」とに分かれています。事業は、各担当委員とスタッフとの協力によって展開しています。また、「NPO法人男女共同参画おおた」は指定管理者としてうぐいすネットの登録利用者へのサービスなど、ハード面を委ねられています。

が、自由な出入りが喜ばれてか、毎回多くの親子が参加しています。親と子の遊びをとおして子育て中の悩みを話し合ったり、お互いに情報交換をしたり、同じ年頃の子どもを持つ親同士の「仲間づくり」がみられます。このような事業の企画・運営に、主体的に携わっているのが区民自主運営委員会です。運営委員会の活動には多くのスタッフが関わっています。誰でもスタッフとして参加でき、自分の得意分野を発揮して、運営委員と共に活躍しています。

◆大田区立男女平等推進センター 区民自主運営委員会

「大田区立男女平等推進センター 区民自主運営委員会」は、ジェンダーフリーをめざした講演会や展示のほか、男女共同参画セミナー、男性の家庭参画セミナー、女性のステップアップセミナー、子育て講座など、正しく男女平等を理解し、自分らしく生きるためのきっかけがつかめる多くのセミナーを開催しています。また、情報紙による男女平等に関する情報提供をおこなっていますが、本年8月末には独自のホームページを立ち上げ、より多くの情報を提供できるようにがんばっています。情報・図書コーナーでは、本やビデオが置かれ、自由に本を借りたりビデオを見たりすることができます。

他施設との違いは、すべての事業に「保育」をつけていることです。子育て中の親が、何かしたい、と思った時にいつでも参加できる環境をつくっています。セミナー以外にも、親子の広場「ぴよたまクラブ」を開催しています。

◆区民活動施設「指定管理者」第1号

特定非営利活動法人 男女共同参画おおた

昨年9月に地方自治法の改正によって「指定管理者制度」が施行されました。この制度は、公の施設の管理運営をNPOや企業など、民間に代行させるというものです。区民自主運営委員会の有志でNPO法人を立ち上げ、センターの管理運営を区民の手で担う事となりました。中身と入れ物が一体化していることによって行政ができないサービスを提供できることは、大きなメリットのひとつといえます。

しかし、事業を進める上での連携は取りやすくなりましたが、公的な施設であるという縛りの中で行政の発想から脱却するにはまだまだ時間がかかるようです。これからは、行政をはじめ企業、他団体との新たな「連携」「協働」をつくり広げる中で、お互いが力をつけていくことが求められてきます。

指定管理者第一号であるエセナおおたの役割はきわめて大きく「区民が使いやすくかつ目的が達成できる施設にしていきたい」と、NPO法人「男女共同参画おおた」の皆さんは意欲的です。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

指定管理者：特定非営利活動法人 男女共同参画おおた

【施設案内】

開館時間・・・・・・・・・9：00～22：00

うぐいすネット受付時間・・・・9：00～19：00

(土日祝含む)

休館日・・・・・・・・・12月28日～1月4日

相談室（要予約）：女性のための電話・来所相談室です

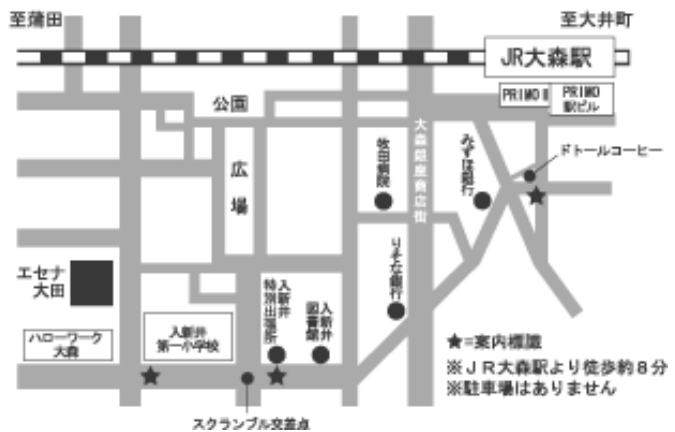
展示スペース（要申込・無料）：区民の皆さんの作品が自由に発表できます

子ども室（要申込・無料）：エセナで活動するサークルのための保育室

フリースペース：利用者が打ち合わせなどに使用できます

〒143-0016 大田区大森北4-16-4

TEL：03-3766-4586 FAX：03-5764-0604



[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。TEL 03-3772-0770
ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで bunkanomori@nifty.com

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

健康ワンポイントアドバイス 第12回
東邦大学医学部附属大森病院
看護師 稗田 幾子

国民病となった糖尿病

●なぜ「国民病」と言われるようになったのでしょうか？

現在糖尿病の人は約740万人、予備軍を含めると1620万人と推定され、成人は実に6人に1人が糖尿病という驚くべき事実があります。もともと日本人は糖尿病になりやすい体質の人が多く、食べすぎ、肥満、運動不足、ストレスなどライフスタイルの変化に伴い糖尿病が増えています。

●どのような自覚症状があるのでしょうか？

- ・尿が多くなる。(尿の回数、1回の量も増える)
- ・のどが渇く。(多量の水分が尿として排泄されるため)
- ・疲れやすい。(ブドウ糖をエネルギーに変えられないため)
- ・異常な食欲。(食事で取り入れた糖分をエネルギーに変えられず、すぐにお腹がすく)
- ・甘いものが好きになる。
- ・やせる。(食事をよく食べるのにやせる)

●なぜ治療が必要なのでしょうか？

血糖値が高い状態が続くと全身の血管をもろくし、網膜症、腎症、神経障害などの3大合併症を起こします。そのため食事療法や運動療法、場合によっては薬物療法が必要となります。しかし、ライフスタイルの見直しや適切な治療を行えば、糖尿病でない人と同じような生活を送る事が出来ます。糖尿病は「一生付き合っていく病気」なのです。

<お知らせ>

当院では糖尿病の短期教育入院(体験入院)を2泊3日で行っています。

文化の森であいましょう」第6回 館を支える裏方たち



お～い 裏方さ～ん 裏方さ～んよ～ 袖で呼ぶ声聞こえるかい・・・
ご年輩の方には節回しが浮かんでくるかと思います。

文化の森ホールは地元の皆様と共に、ピアノ発表会、コンサート、お芝居等舞台芸術の発表の場としてオープン以来、3年経ちました。舞台のスタッフは、文化の森ホールの裏方です。いつも黒子に徹し、つねにホール利用者の良き理解者、協力者、アドバイザーとして、舞台の袖に控えております。何かありましたら、お声をかけてください。ホールは、舞台(道具、美術)さん・音響さん・照明さんの3人で運営しています。彼らスタッフは舞台でのハレのひとときを、演ずる側と観(聴)衆側が共に満足して頂ける事を喜びとして、日々務めております。

さてホールの一日は、昼であれ、夜であれ、「おはようございます」の挨拶で始まります。それから仕込み・リハーサル・本番・片付け、最後に「お疲れ様でした」で一日が終わります。

ホールは、舞台機構・音響装置・照明装置のある無の空間です。ハレの舞台を共に素敵な舞台にするために、手間、暇(人・物・時間)をかけて演ずる側も観(聴)衆側も満足し感動を共有するために、3人の裏方さんが頑張っています。

お～い、舞台、音響、照明さん、間もなく本番です。スタンバイよろしく！それでは本番よろしくお願ひします。

裏方さんは素敵な舞台の苦労人(玄人)でした。



ティーラウンジすばる

ようこそ、福祉の店「ティーラウンジすばる」へ



大田文化の森の一角にあります半円形をしたガラス貼りのお店です。

いつでも気軽にアットホームな感覚で、挽きたてのコーヒーをはじめ、抹茶オーレ等のドリンクメニューから、自慢の梅おぼろうどん、ピリッとしたドライカレー、イタリアンパスタもとりにいれたレシピでお迎えます。

気ままに過ごせる美味しい時間を、心ゆくまでお楽しみ下さい。

店内には、各授産施設でつくられたクッキーやカップケーキ、木工細工、アクセサリ等も販売しておりますので、ご来館の折は、是非お立寄り下さい。スタッフ一同お待ちしております。

営業時間 10:00~17:30定休日 隔週月曜日・全館休館日

情報誌「おおた文化の森」はここにあります

「文化の森」が遠いという方も大丈夫。

区内の下記の施設でも手にとることができます。また、配布協力店も随時募集しています。

【区内主要施設】

大田区役所内区政情報コーナー・区民生活課・社会教育課/大田文化の森/区民プラザ/区民ホールアプリコ/図書館・区民センター

文化センター・児童館/エセナおおた/生活センター/産業プラザ/池上会館/郷土博物館/多摩川台古墳展示室/田園調布富士見会館/ゆうゆうくらぶ/心身障害者施設/大田区体育館/大森スポーツセンター/ユースセンター/地域行政センター・特別出張所他

【近隣地域協力商店街】(代表店名)

大森柳本通り名店街(金海堂)、柳会 山王ハーモニーAVE(大花園)、新柳会(平林酒店)、臼田坂通り商店街(ミカドクリーニング)、春日橋くすのき通り商店街(ウスタフオスタジオ)、観音通り共栄会(越前屋)他

【その他】

大田区内各地域の郵便局、昭和のくらし博物館、大田区内の城南信用金庫各支店、東京都民銀行(大森支店・蒲田支店)他

編集後記

今号は、表紙の文士・話題の人・わが街おおたのグッドパートナー、のすべてが、結果として女性となりました。

・運営協議会の方針を明確にし、活動内容をわかりやすくお知らせするなど、読みやすく、内容を充実するための工夫を今後も続けます。

《編集メンバー紹介》編集長:河合良治/青柳博之・永島俊子・大島悦子・大間俊雄・加藤光・佐藤佐智枝・高田あや

「おおた文化の森」

次号2005年「冬号」は1月15日発行予定です。

情報誌「おおた文化の森」2004年秋号

2004年10月1日発行(季刊 通巻第13号)

編集人 河合良治

発行 大田文化の森運営協議会

〒143-0024

東京都大田区中央2-10-1

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

編集協力 株式会社 恒和印刷所

川田英樹 川田達也

印刷 株式会社 恒和印刷所

編集協力 株式会社 恒和印刷所

川田英樹 川田達也

印刷 株式会社 恒和印刷所

